

広報 11月号 なかがま



「自然を生かした保育」に臨む

◎ 白 滝 保 育 所 ◎

自然は子どもたちに何を与えるのだろう…。自然とのふれあいの機会と経験を子どもたちに積極的に与え、真に豊かな保育の成果と価値を求めよう…。

ここ〔写真〕白滝保育所では今年度と来年度の2年間、県の指定を受けて「自然を生かした保育」に臨んでいます。

ふれあう自然4つの柱は「畑」「川」「小鳥」「ニワトリ」。

畑では、種から収穫に至る作物の成長や労働から…。

川では、魚を捕え飼育する生物の生態から…。

小鳥やニワトリでは、産卵、ヒナ誕生、アワとかトウキビなどエサ作りなどの体験、愛情による飼育ができるように…と。

おとなの世界からすればささやかな自然かもしれません。

ですから「家庭や地域の生活にももつと自然とのふれあいを…」と保母たちは願っています。

成果は当然すぐに得られるもの確かめられるものではないでしょうが、無限の恵みを秘める自然とのふれあいに大きな可能性をもつ子どもたちに期待されます。



〔写真〕
白滝保育所の子どもたちが、収穫したトウキビの実を、自分たちで植え取り、自分たちでひきかき、自分たちで育てる。

議 会

二宮町長初議会に臨む

第5回臨時会

二宮重憲町長になって初の町議会、第五回臨時会が九月二十八日、町体育館で開かれました。午後二時三十分開会。議案上程審議を前に、初議会に臨んだ二宮町長に対し菊地満男議長が歓迎の言葉を、また、二宮町長はこれに答えて感謝を述べるとも町長就任のあいさつをしました。このあと議案上程審議に入り、教育委員の選任に関する一案件が原案通り可決されたほか、議員提出の老人医療保障制度に関する一案件が可決されました。これらのおもな内容は次の通り。



議場で就任あいさつをする二宮町長

二宮町長に対し、長浜町議会を代表して行った菊地議長の歓迎のことば、二宮町長が議会に

菊地議長歓迎のことば 実績高く評価 活躍に期待

「二宮町長のこのたびの無投票当選は、町民挙げて二宮町の過去の実績を評価し、今後の町政をゆだねるといふ栄誉あるものであり、町議会および町民に、

対して述べた町長就任あいさつの概要は次の通り。

代わり心からお喜びを申し上げます。二宮町長は長年にわたり長浜町青果農協組合長として、また、県信連の理事として農協ひとすじに歩んでこられたことは皆様ご承知の通りで、めまぐるしく移り変わる農政下においての農協の多角経営とミカン産業を中心とした農業経営指導等は、郡内はもとより県下にもその手腕

教育委員に 小西考夫氏



大宇白滝の上田明子氏はこの十月六日で教育委員の職が任期満了となるのにもない、町長は後任の委員に大宇豊茂の小西考夫氏(五四)の写真を選任することと議会の同意を求めた結果同意され、同氏が後任委員に決まりました。

老人医療保障制度 の抜本改革を要望 町議会政府へ意見書

長浜町議会では、財政上から行き詰まりの状態にある高齢者の医療保障制度の抜本改革を要望する次の通りの意見書を政府に提出することにいたしました。

「高齢者医療保障制度の抜本改革に関する意見書」

医療保険各制度と公費負担制度の組み合わせによって、高齢者の医療を保障する現行制度は、医療保険の全般的な財政難、就中制度的に著しく多数の老人を抱える国民健康保険の負担の偏重と財政危機に直面して、今日既に行き詰まりの状態に立ち至っている。

このままに放置すれば、崩壊の虞れなしとしない国民健康保険の財政難と今後の高齢化社会における老人医療問題の重要性を思うとき、問題は極めて深刻であり、高齢者医療保障制度の改革は、最早遷延を許されないものと断ぜざるを得ない。



しおり

衰えを知らない松くい虫の被害はさらに広がり、ついに町内の天然記念物である豊茂と白滝にある「くろまつ」2件にもおよび、白滝のはすでに伐採され姿を消した。このほか柴の「にしきぎ」がいわば老衰により命を絶った。これで当町の天然記念物は無事喜地の「たぶ」、出石寺の「かつら」、櫛生の「いたじい」、出海の「いちよう」、豊茂の「いちよう」「こが」の6件となった。文化財、天然記念物をみんなの力で守りましょう。

第4回臨時会 短 信

菊地町長任期中最後の長浜町議会第四回臨時会が九月二十日町体育館で開催されました。おもな内容は次の通り。

請負契約の締

結2件を承認

▽昭和五十三年度の公営住宅建設工事を五千三百九十万円、長浜の株式会社・門田組と、また、同年度の大屋地区道路新設工事を七千六百五十五万円、大洲市の株式会社・西田興産と、それぞれ請負契約を結ぶことが承認されました。

菊地町長退任 あいさつ 議長送別の辞

終了後、菊地町長は「至らない点が多くご期待に添えなかったことをおわび申し上げます。新町長と共にますます町の振興発展に健闘頂きたい」と町長退任のあいさつを、これに対し菊地議長が「オイルショックによる世界的経済変動の中、そして高度経済成長期から安定経済成長期への一大転換期にあつて政治、経済ともに困難なときに町の振興目標のために鋭意努力されたこと、とくに代議士の誕生、国道昇格、新大橋の完成を見たことは非常に喜ばしい」と四年間の菊地町長の功績をたたえ送別のことばを述べました。

11月は 雇用保険適用促進月間

労働者を一人でも雇用する事業所は「雇用保険」に加入しなければなりません。未加入事業所はさっそく加入を。手続きは商工会へ。

を高く評価されており、今回の栄誉は当然の帰結ともいえるべきである。

さて、現在の社会情勢はまことに複雑多様の様相を呈しており、地方公共団体を問わず、政治的にも財政的にもたいへん厳しい時代に直面している。

長浜町にとっても流通新港湾建設推進の大事業をはじめとして農業を軸とした第一次産業の振興対策、教育施設等数々の重要課題が山積しており、これら懸案事項の早急な推進が期待されている。

政治の世界は初めての二宮町長ながらも、農政において示された過去の実績が必ずや一万三千町民の期待に答えられるものと確信する。

町議会としても長浜町が生んだ偉大な西田代議士の指導を仰ぎつつ二宮町長と一体となって町発展のため振興基本構想の実現を図るべく全力を尽くすことが町民の負託に答えるものと信ずる。

二宮町長の活躍を心から期待する。

二宮町長就任あいさつ

執行態勢の確立
施策の積極展開
活気ある行政推進

「今回の町長選挙においては西田先生はじめ町議会、先輩同志町民多数の方々のご推せんを頂いて無投票当選をさせて頂いたことをたいへん光栄に思うとともに、ご支援に対し深く感謝、

厚くお礼申し上げたい。このような絶大なご支援と信頼の重みを痛感しており、今後全力をあげて長浜町政と取り組んでゆきたい。

前町長の菊地嘉彦氏には四年間の労苦と功績に対し心から敬意を表する。

これからは私が長浜町長として皆様方のご協力を頂きながら、明るく豊かで住みよい長浜町づくりをすすめてゆきたい。

町政に取り組み基本的なものの考え方については過日、有線放送等で町民の皆さんにごあいさつ申し上げた通りであるが、まず第一点は、町政は地方自治の原理原則に基づいた秩序と活気ある町政の執行態勢をまず確立しなければいけない。

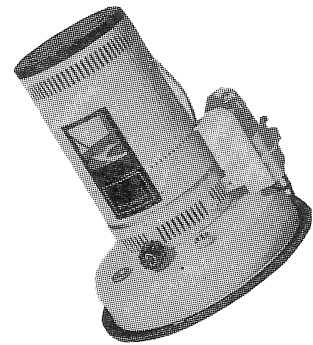
二番目には、現在の不況と長浜町の後進性からくる格差から脱却しなければいけない。すでに動きを始めている新長浜港湾建設を軸として、これらの建設にともなう流通備蓄基地の開発をはじめ地場産業の振興発展のため、重点的な施策の展開を積極的にすすめてゆきたい。

第三は、政治行政はすべて住民のものであるという認識をもつて常に町民と一体となることに努めるとともに、議会および西田代議士との連携を密にして対外機関との協調を図る。また、まずは役場内を明るくしてゆくとともに町全体に希望と勇気を起こし、活力ある長浜町政をすすめてゆきたい。

町民の意志を代表されている議会の皆様の温かいご支援とご協力を心からお願いする次第である。

お宅の「石油ストーブ」は

対震自動消火装置付きですか？



移動式装置の使いません

ストーブの季節、そして、火災の多くなる季節に入りました。

ところで、お宅ではどんなストーブを使っていますか。もし、移動式(煙突不要のもの)の「石油ストーブ」でしたら、それには「対震自動消火装置」すなわち地震や接触などによりそのストーブが震動したり転倒した場合に自動的にそのストーブの火が消せる装置は付いているでしょうか。今すぐ確かめてみてください。

そして、もし、その装置の付いていない移動式の石油ストーブでしたら、さっそく対震自動消火装置付きのものに改めてください。この場合、新しいものにお買い替え

あなたにもあります

火の災い防ぐ義務

対震自動消火装置付きが義務付けられたのも火災を防ぐためなら、ストーブの取り扱いについて次のようなことを守ることも極めてそのために大切な私たちの義務です。一人ひとり十分心がけて、火の災いに遭わないようにしましょう。

ストーブは

☆通路や出入口付近での使用は避けること。接触による転倒などで火災になる場合がちです。

☆回りのものに燃え移らない安全な距離に置くこと。

☆火をつけたままの持ち運びや給油はしないこと。

☆小さな子供のいる家庭では、火災予防の上からも「囲い」をすること。

☆チヨットでも留守をするときには火を消すこと。

☆火を取り扱う場所には、いつでも使用できる消火器や水を入れたバケツを備えること。

国民年金に加入する
と、次のような八種類の給付制度があります。

ごぞんじ

●老齢年金 六十歳になったときから支給。

●通算老齢年金 国民年金加入期間だけでは年金を受ける資格がない場合、他の年金の加入期間を合わせて、六十五歳から支給。

●障害年金 一年以上保険料を納めた人が重い病気にかかったとき支給。

●母子年金 一年以上保険料を納めた妻が夫と死別し、十八歳未満の子どもといっしょに暮らして

国民年金8つの給付制度

●国民年金 一年以上保険料を納めた妻が夫と死別し、十八歳未満の子どもといっしょに暮らして

●死亡一時金 三年以上掛金を納めた人が年金を受けずに死亡したとき、その遺族に支給。

山鬼守平氏

消防長浜支署長に

大洲地区広域消防事務組合では、十月一日付けで署員の人事異動を行いました。

その結果、長浜支署長に新しく山鬼守平氏(三七) 大洲市徳の森在住が着任、前・岸良雄支署長は内山支署長に転任しました。

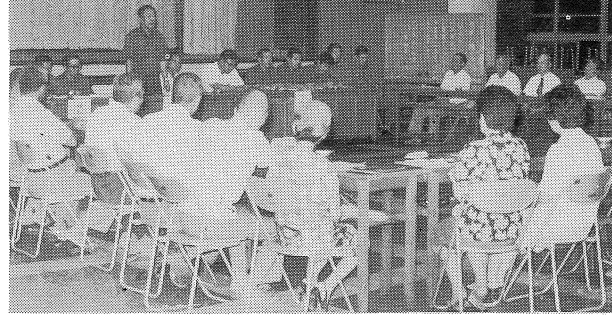
意見、要望、批判オープンに聞く 初の『警察と語る夕べ』開く

大洲警察署管内では初めて、町住民と警察との懇談会「警察と語る夕べ」が、長浜町体育館で9月13日午後7時から開かれました。

民警一体の明るい

町づくりを願って

これは、大洲警察署長浜警察官 派出所が私たちの町づくりの目標でもある「明るく住みよい町づくり」を防犯や事故防止など警察業務のサイドから取り組む上では、とくに住民との連携が強く望まれることなどから積極的な広聴活動により住民の声を聞き警察署との隔たりを取り除いて、いわゆる民警一体の協力で住みよい長浜町づくりを展開してゆこうというねらいで開催したもので、主催者・大洲警察署側からは大洲本署の松井次長



警察に対する率直な声を聞き隔りをなくそう、と開かれた初の「警察と語る夕べ」

や長浜派出所の光宗所長ら十二人、町内からは約三十人が参加、また、町からも総務課長ら三人が出席しました。

率直にお聞かせ頂き相互間の角を取って頂きたい」とあいさつ。まず、交通事故や犯罪状況の概要の報告が行われ、続いて本題ともいふべき警察への意見、要望などを中心とした懇談に入りました。

懇談は同署のオープンな広聴姿勢が前面に打ち出されたこともあって左に紹介の通り、派出所員の執務態勢や事件処理のあり方などを中心に意見や要望が活発に出され、双方に有意義な懇談となりました。

署では「皆さんの生の意見が聞けてたいへんよかったです。これからの意見や要望に添えるよう今後できる限りの努力をしたい。この催しは今後も定期的に開きたいと思っ

ているが、皆さんも気軽に警察署に来て頂き、日常生活においても意見や要望を聞かせて頂きたい。また、警察官も地域の会合にできる限り参加して共に明るい町づくりに努力したいので、ご協力をお願いしたい」と話していました。

らいたい。

署 犯罪や事故のない平穏な町づくりのためには、皆さんの協力がぜひ必要であり積極的な情報提供をお願いしたい。また、情報提供者に対しては自宅での調査作成など、できる限りご迷惑をかけるような改善に努める。

住民 「突っ走る少年たち」と題し、県下の非行実態が愛媛新聞で報道されているが、長浜町でも同様のことがあるのか。

署 新聞報道のようなことは長浜町内では無い。都市部では疎外感から非行に走り易く、また、非行の進度が早い。長浜町内では周囲が少年たちを温かい目で見守っているが、今後とも少年の健全育成に努めて頂きたい。

住民 車でパトロールする警察官の姿はあまり見かけないが…
住民 長浜の派出所には警察官が在籍していることが少ないが…
署 この二つの要望は相反する問題であり、これを両方とも実現するためには警察官（派出所員）の増員が必要であると考える。交通関係の仕事が大きなウエイトを占め、また、犯罪がスピード化、広域化しているため車による勤務も多くなっているが、今後できる限り要望に添えるようにしたい。
住民 長浜の派出所員は、できるだけ町内で活動できるようにしてもらいたい。
署 本署への引揚げ勤務を極力なくして地域で活動できるように

努めている。
住民 警察と住民の間に溝があるように思われる。また、願いや届け事などで派出所を訪れた際は笑顔で対応してもらいたい。
署 警察と皆さんの溝をなくするよう努めている。また、笑顔の応対を心がけるよう指導している。皆さんも気軽に来所頂き要望や意見を聞かせて頂きたい。
住民 派出所や駐在所員が不在の場合、あるいは急用のときは一〇番へ電話してほしいか。
署 一〇番電話は事件事故の

執務態勢のあり方など活発に

か、または、派出所・駐在所内の机の上に置いてある連絡簿に住所・氏名・電話番号、要件を記入しておいて頂ければ、帰所後連絡します。
住民 民警一致と言われるが、事件事故の情報を提供すると参考人として本署で調書をとられ、一日か半日つぶれるので改善しても

まの宝

大字今坊の久保重徳氏の祖先は、代々新谷藩の今坊村庄屋を継承した家柄である。その庄屋文書のおびただしい数が、代々の努力によって伝来された。享保九年から明治四十五年の百八十八年間にわたるもので、内容は次の通りである。

文書	藩政	一七冊	一六通
	村政	一〇八冊	七五通
	租税	二八三冊	六通
	金融	七冊	一三通
	交通	一八冊	一〇通
	農地	一〇冊	一〇通
久保家文書	農業	一七冊	四通
	漁業	一二冊	三通
	商業	一冊	一通
	戸口	八五冊	一七一通
	宗教	一九冊	一四通
	雑		五二通

計五七七冊、三七六通にのぼる。とくに宗門関係文書は四十七年間わたるものが保存されている。昭和四十八年二月七日に長浜町有形文化財に指定された。新谷藩政史料としてその価値が高く、久保家より委託をうけて長浜町教育委員会が保管している。
(町文化財保護審議会委員・久保七郎)



久保家文書の一部

「漁業センサス」 を行います

十一月は農林水産省による「第六次漁業センサス」が行われます。

この調査は、わが国の海面および内水面の漁業の実態を総合的に明らかにするために漁業経営世帯、漁業従事者世帯（町内では約三百世帯）を対象に行うもので、国の最も基本的な統計調査の一つとして統計法に基づいて行われます。調査の結果は国の水産行政の資

料となることはもちろん、県や町の行政にも欠くことのできない資料となるほかは、他の目的に使うことは決してありません。調査員が調査に伺いましたら、よろしくご協力くださいますようお願いいたします。

は金の最低賃金
1日2,285円

愛媛県内の最低賃金が、この十月二日から次のように改められました。
◎一日二千二百八十五円
◎一時間二百

八十六円
したがって、この金額以下の賃金で労働者を雇うことはできません。

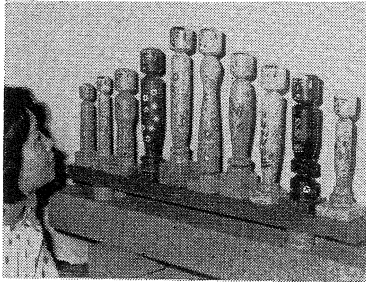
このほか、卸・小売業、印刷、食料品製造業、繊維産業、木材・木製品、パルプ・紙、窯業、機械・金属製品・自動車整備業などには、それぞれの業種ごとに最低賃金が定められています。
なお詳しいことは、愛媛労働基準局またはよりの労働基準監督署へおたずねください。

表彰***

玉井さん(白滝)の石 コケシが「特選」

愛媛の祭り彫塑の部で

白滝の玉井義幸さん(二四)の作品、ミカゲ石で作ったコケシが九月三十日と十月一日に松山市の愛媛県民館で開かれた「第五回愛媛の祭り」の美術生活文化展彫塑の部でみごと「特選」に入賞、十月一日同会場で行われた表彰式で



特選に入賞した玉井さんの作品石のコケシ

西田春善愛媛県教育委員会教育長から表彰されました。

作品はミカゲ石を石ノミなどで彫って作ったコケシで、高さ約二十センチから三十五センチまでの十本を一組としたもの、玉井さんが仕事の合い間に約一か月がかりで製作して出品したものです。

玉井さんは「おとし、去年もダメでしたので今回も期待していませんでしたが、いきなり特選と聞かされてビックリしました。来年も出品したい」と喜びを語っていました。

県有放アナコン 橋本アナが「最優秀賞」

全国大会へ

長浜町有線放送の橋本真弓アナウンサー(二六)は、十月三日に松山市の県建設会館で開かれた昭和五十三年度愛媛県有線放送アナウンスコンクールで、みごと「最優秀賞」に選ばれ、白石春樹愛媛県知事ら三者から表彰、ことし十一月十七日に東京で開催される全国大会に愛媛県代表として出場す

ることになりました。

橋本アナは四十七年度、四十八年度、五十一年度と過去三回優秀賞に入賞していますが、最優秀賞はこれが初めて。

このコンクールは県下の有線放送施設で活躍している従事者を対象に、アナウンス技術の向上をめざして県などが毎年主催しているもので、ことしは十三人が参加。主催者側で用意したスク립ト原稿の朗読と解読原稿(素材用の原稿をわかりやすいアナウンス原稿に直して放送するもの)の二種類でアナウンス技術を競い総合評価する方式で行われ、NHKや南海放送、愛媛放送のアナウンサーらが審査しました。

橋本アナは「まさか入賞するとは思いませんでした。町内の有線放送加入者の皆さんの日ごろのよきアドバイスのおかげです。全国大会での入賞はとうてい望めないと思いますが、精いっぱい心のこもるアナウンスで臨みたい」と話しています。ご声援ください。

二位は周桑多賀、三位は伊予市で、いずれも農協連合会の施設の

わだい(話題)



設置された俳句ポスト

わが町のよさを俳句に 町内5か所に俳句ポスト

「俳句ポスト」。名の通り俳句をつくって投函してもらおうというポストが、このほど町内の五か所に設置され、あなたの投句を待っています。

これは郷土の自然やよさを、俳句を通して表現してみることも、ふるさと長浜を見直そう(長浜町の地域総合教育推進研究課題)の一つでは。私たちの町は自然に恵まれ、故郷西村町長のころから俳句の道に参画した町民は数え切れない。文化の伝承のためにもと、中央公民館が設置したのも。

この俳句ポストは町内の人だけに限らず町外から訪れた人の作品を含むことによつて、より幅広くふるさと長浜の発見ができるとして、自然が美しい観光行楽地や人

の出入りがひんばんな所、つまり、出石寺茶屋、白滝水車小屋、白滝公園上、長浜駅、白滝駅の五か所に取り付けられました。

ポストは長方型の木製箱。正面中央に毛筆で「俳句ポスト」と書いてあり、上部に投句口、下部には投句用紙入れがあり用紙が常備されて自由に取捨出せるようになっていました。

この用紙を使つて投入された作品は、毎月末日に管理者によつて開函され、中央公民館が依頼した選者に入選句を選んでもらうことになっており、入選句は公民館報や愛媛新聞紙上、句会報などがまーなどに掲載発表するほか、年間の入選句集を発刊する計画です。あなたもどうぞ一句ひねってみてくださいね。

現在長浜町の財政

財政状況の公表

長浜町の財政事情の作成および公表に関する条例により昭和53年度9月末現在の財政を公表します。

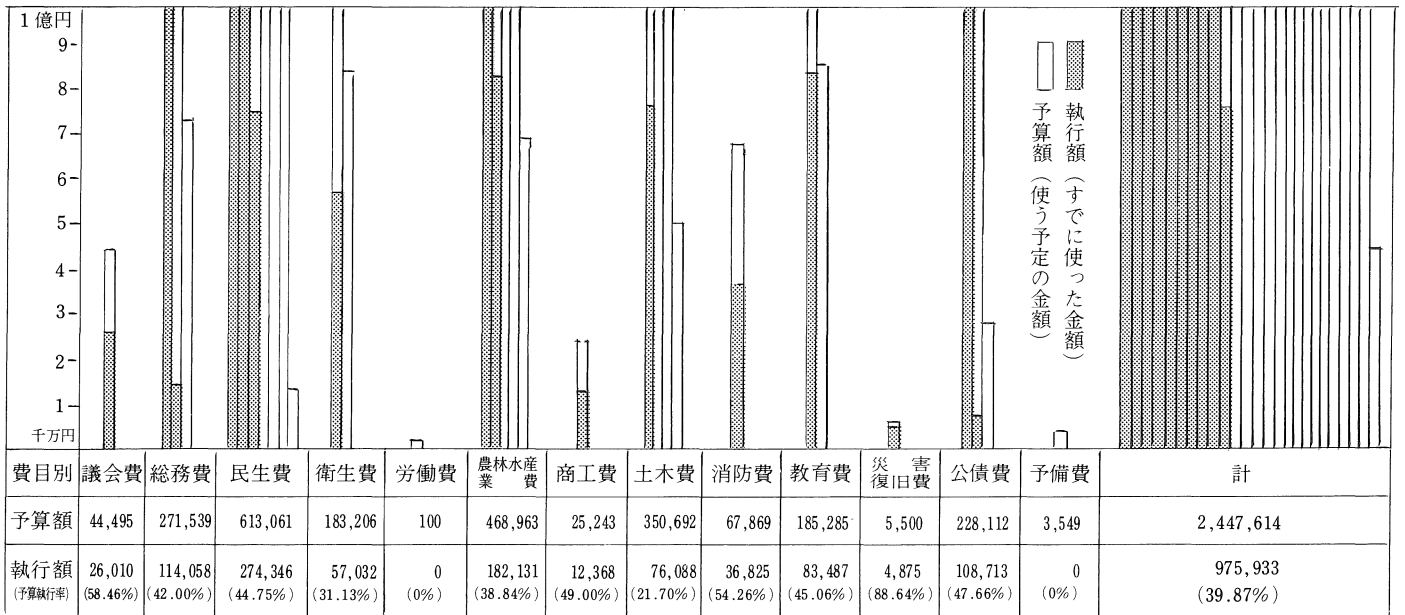
昭和53年10月

長浜町長 二宮重憲

会計

歳(使うお金)出

(単位：千円)



特別会計

国民健康保険



予算額 620,239千円
収入済額 230,043千円
支出済額 204,376千円

国民健康保険直営診療所



予算額 31,953千円
収入済額 793千円
支出済額 29,710千円

港湾施設



予算額 13,603千円
収入済額 2,471千円
支出済額 6,667千円

税別収入状況

(単位：千円)

税種	予算額	収入済額
町民税	99,442	57,204
固定資産税	98,520	61,016
軽自動車税	6,048	6,406
たばこ消費税	29,483	16,877
電気税	12,695	7,955
木材引取税	300	0
特別土地保有税	4,575	6,919
計	251,063	156,377

住宅新築資金等貸付



予算額 30,578千円
収入済額 3,373千円
支出済額 2,228千円

簡易水道



予算額 77,287千円
収入済額 2,414千円
支出済額 39,077千円

工業用水道事業

(単位：千円)

収益	3,961
費用	5,780

水道事業会計

(単位：千円)

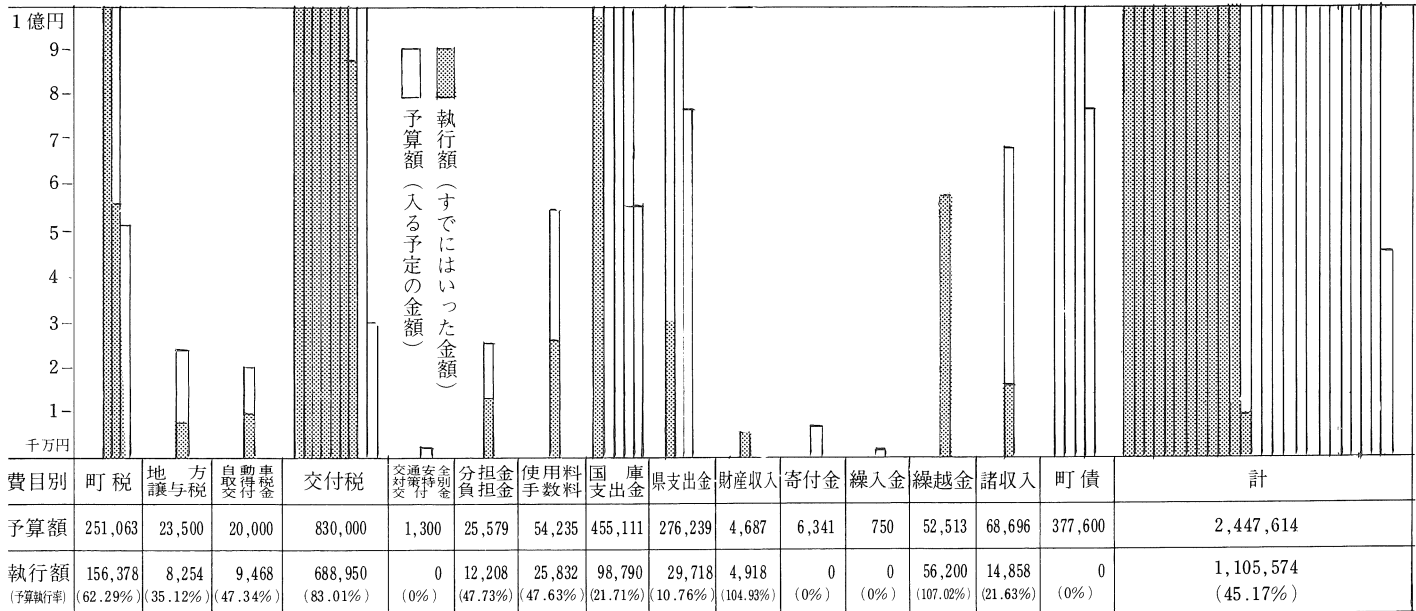
収益	20,669
費用	18,657

昭和53年度9月末

一般

歳（はいるお金）入

（単位：千円）



踏切事故多発の季節

耕うん機は

余裕をもって

秋の農繁期を迎え、耕うん機の踏切事故がふえる季節になりました。

耕うん機は速度がおそく車体が長いので、通過時間が長くかかり、すなわち踏切を通過する場合は十分な余裕をもって通るよう切事故を防ぐ最もたいせつなことです。

できることなら別の人に通過の誘導をしてもらうのがよいでしょう。

人も車も

安全を確かめて

踏切での事故の原因のほとんどは警報無視、直前横断などの無謀な通行です。

ことし四月から八月末までに発生した四国総局管内での踏切事故は三十五件、十六人の方が亡くなっています。

踏切を通過するときは次のことに注意して、非難事故を起こさないようにしましょう。



寄付

○豊茂の二宮邦さん
（六六）
一児
童図書
購入費
に……と、五
千円を

- 踏切では一旦止まって安全を確かめる
- 警報機が鳴っているときは絶対に踏切に入らない
- 踏切では前の車が通過してのち十分な車間距離をとって発進する
- エンスト、落ち込みした場合は、ただちに列車を止める手配をとる

豊茂小学校へ。

○長浜二十八区の青野凱さん（三五）
五）：長浜町の航空写真パネル一枚（九八・〇七×七・二一）を長浜町中央公民館へ。

○出海保育所保護者の会：防災カーテン（十一万五千円）を出海保育所へ。

○長浜二十四区の坪田ヤエさん（七一）：日本文学全集などの図書百十三冊を中央公民館図書室へ。



電電コーナー

問…9月分請求書の中に「広告料500円」という明細書きがありました。広告

など依頼していないのになぜですか？（沖浦K）
答…電話番号への加入者名の掲載は1名は無料ですが、追加の場合は1名につき500円となっております。これは同じ番号で他の名義を使用した重複掲載料だと思います。新しい電話帳が11月に出来ますのでお確かめください。

お誕生おめでとう!!

9月届出分(敬称略)

住 所	保護者氏名	続柄	児名
長 浜	井上 龍志	長男	長女真里子
豊 茂	大成 昇	長男	寛
戒 川	石堂 勝重	二男	真悟
沖 浦	上川 峯生	長女	恵
沖 浦	松本 利雄	三男	秀人
下須戒	城戸幸太郎	二男	晃
下須戒	荒地徹次郎	二女	静香
沖 浦	谷口 寅雄	三男	徹
出 海	山口 将男	二男	直樹
黒 田	富田 正隆	長男	真矢
下須戒	和田 義弘	長男	真樹
下須戒	太田 和男	二女	好映

おくやみ

9月届出分(敬称略)

住 所	氏名	死亡時年齢
櫛 生	大野 トモ	(八四)
櫛 生	玉井 閑造	(七六)
今 坊	上田 繁樹	(七五)
白 滝	日中 寛善	(四八)
今 坊	田野 ツヤコ	(七七)
下須戒	宮田 清秀	(七三)
下須戒	亀岡 清平	(五五)
豊 茂	菊岡 庄平	(八四)
長 浜	中川 勇	(七六)

結婚

今 坊 服部新太郎 (七五)



9月長浜町役場届出分(敬称略)



今月は 清水志朗・泉さんのカップル

住 所 氏名 婚姻届時年齢

櫛 生 沢 西内 志朗 (二五)

櫛 生 内 泉 (二五)

減っています 人口・世帯数

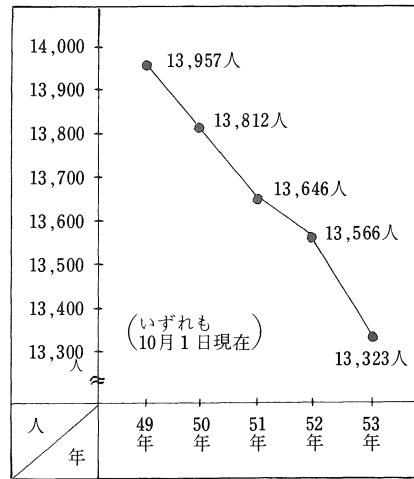
一住民の方のご要望を受けて、本紙では昨年(昭和52年)十一月号で十月一日現在(人口異動の少ないとき)の地区別の人口・世帯数をお知らせすることになり、ここにこの時の状況を紹介します。さらに今回は近年五年間の推移状況をグラフで見せて頂くことにしました。

それによると人口は相変わらず下降の一途を、また、世帯数も公営住宅入居にともなう世帯分離により、タバコは町内で、五十二年度には約三千九百九十二万四千円(タバコ消費税が町の台所に入りまし。今後も町内で。)

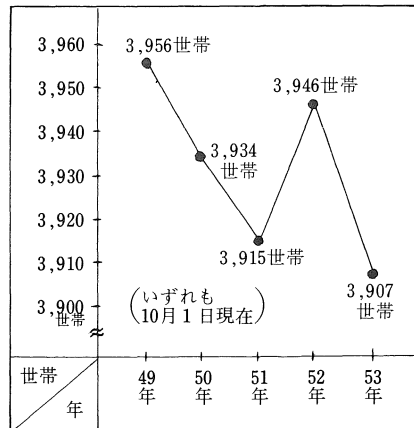
地域別人口・世帯数 (10月1日現在)

大字	人 口			世 帯
	計(人)	男(人)	女(人)	
仁 久	347	175	172	119
長 浜	3,587	1,699	1,888	1,149
青 島	135	59	76	65
黒 田	449	222	227	110
沖 浦	1,361	654	707	371
今 坊	743	354	389	192
櫛 生	995	461	534	289
須 沢	195	96	99	56
出 海	898	425	473	274
下須戒	940	464	476	255
穂 積	139	69	70	35
上老松	356	162	194	93
豊 茂	873	415	458	233
白 滝	1,114	512	602	355
戒 川	346	164	182	98
大 越	69	34	35	15
柴	776	385	391	198
合 計	13,323	6,350	6,973	3,907

近年5年間の町内人口の推移



近年5年間の町内世帯の推移



よると思われる変動はあるものの、やはり下降の線をたどっている傾向

向にあります。みんなの建設的な力で住みよい町を築き、繁栄の方

向に転換させてゆきたいものです



とり入れの秋というのは実りの秋に続いて農家にとっては昔から忙しくとも年中最も頼もしい季節のはずであった。さて今日のそれはどうであろう。米にしてもミカンにしても主幹作物の収穫はあっても収入がどうも思わしくない。豊作貧乏などという言葉は昔の人は夢にも思わなかったであろう。今年豊年満作で今日は楽しい村祭り ドンドンヒャララ ドンヒャララが秋の代表的農村風景であったはずだ。忙しさだけが昔そのままに残っているのがさらにわびしい▲とり入れによく似た言葉にとり込み中というのがある。何も取り込むわけではないが葬儀とかめごとと緊急事件などあまりよくないことが起きた場合に使われる。お取り込み中まことに恐縮ですが、とあいさつする▲とり入れの結果がよくないと取り込み中が増える傾向にある。とり入れは農産物に限ったことでなく収入、所得のすべてと考えてよい。金や物が乏しくなるとケンカが起る。金持ちケンカせずと言うて豊かであれば争いごとは少ない▲さて長浜町もとり入れを増やし取り込み中を起さぬようにしなければならぬ。別に奇抜な方法があるわけではない。一つにかかって全町民の工夫と努力の積み重ねにかかっていること、秋の夜長にじっくりと思案をめぐらして見ようではないか。

編集後記

菊地町長にとっては最後の、一方、二宮町長にとっては初めての町議会の模様を同一紙面でご紹介することに町政の流れを感じずにはおられません。ともあれ人は変わろうとも町づくりの目標は「楽しく住みよい」「豊かで働きたい」とある。「美しい人情と文化の」と不変です。人口・世帯数ともまだまだ減少の傾向をたどり過疎化の止まないこの町を奮い起すため、新町長とともに前進して頂きますように。

一方、長浜警察官派出所ではこの四月に所長の異動があり、新しい光宗所長による対応が打ち出されておられ、四ページの「警察と語る夕べ」もその一つ。犯罪や事故のない明るい町づくりにも住民みんなの参加と協力が必要であることをご理解頂ければと感じます。「読者登壇」「パッチリパッチリ」は紙面の都合によりお休みさせて頂きました。